

特別
企画展

戦国武将と立山



公開 二〇二〇年十月三日(土)〜十一月十五日(日)



戦乱の世を生きた立山山麓の人びとの知慧と



たくましく自立心!

富山県立山博物館



【開館時間】午前九時三〇分〜午後五時まで(入館は午後四時三〇分まで)
【観覧料】一般二〇〇円 大学生一〇〇円 高校生以下は無料(小学生以下は観覧料は無料です。学校教養・社会教育に利用する児童・生徒の観覧料は申請により無料となります。)



いざ、戦国の世の「立山」へ!

乱世を生き抜いた人びとの知られざるヒストリー

戦国時代は、群雄が国々に割拠し、ときには領地や生産物を収奪するための激しい戦闘が繰り返られる時代でした。戦闘下においては、領内の村民も軍事動員され、犠牲を強いられることになります。それに加えて、地震や洪水などの自然災害も多発し、飢饉や疫病で苦しめられるなど、生きることも自らが困難な時代であったといえるでしょう。

永禄年間の終わり、芦峯村・本宮村の百姓は、池田城主・寺嶋職定とともに上杉勢と戦います。秀吉は、佐々成政を討伐す

るため越中へ出陣した際、立山山麓の宗教的勢力を警戒しました。加賀前田家は、祈願所として芦峯寺・岩峯寺の宗教施設を造営・修復するかたわら、その勢力を支配するための方策に力点を置きます。

本企画展は、戦国武将が「立山」を支配した時代をとりあげ、立山山麓の人びとが戦乱の世をいかにして生き抜いたのかを紹介します。

I 戦国前夜 南北朝の争乱のなかで

- ①伝桃井直常守護仏 興国寺蔵
- ②桃井直信軍勢催促状 芦峯寺一山会蔵・富山県指定文化財(富山県最古の古文書)
- ③大威徳転法輪曼荼羅(パネル展示) 個人蔵

II 池田城と中地山城 戦国期の芦峯寺

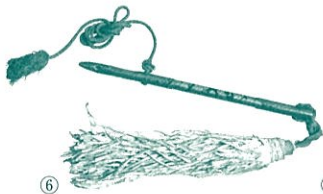
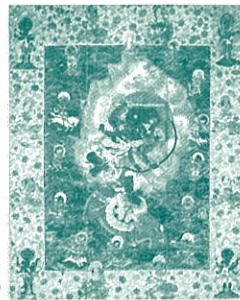
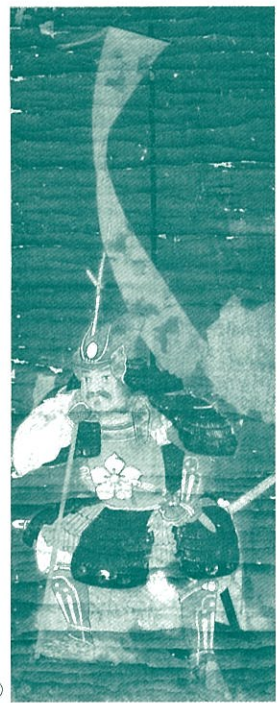
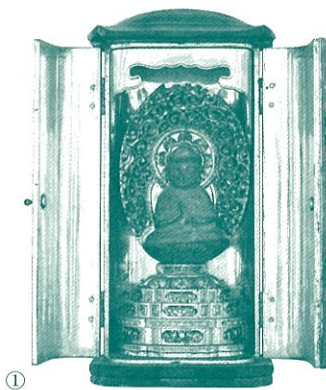
- ④寺嶋職定書状 芦峯寺一山会蔵・富山県指定文化財
- ⑤河上中務丞富信像(パネル展示) 個人蔵

III 秀吉の越中出陣 佐々成政と立山衆徒

- ⑥佐々成政采配 護国八幡宮蔵
・豊臣秀吉唐冠形兜 護国八幡宮蔵

IV 前田家三代と女性の祈り

- ⑦鉄打出二枚胴(複製) 石川県立歴史博物館蔵
原品：尾山神社蔵
・前田犬千代初陣の図 富山県立図書館蔵



その他の主な展示資料

- ・伝桃井直常愛用の磐石 龍高寺蔵
- ・上杉輝虎書状 個人蔵(県内初公開)
- ・豊臣秀吉書状 個人蔵
- ・立山曼荼羅竹内家本 個人蔵
- ・前田利家・利長・利常寄進状 成巽閣蔵
- ・玉泉院侍女奉書(狛犬奉納) 雄山神社前立社壇蔵
- ・池田城・中地山城ドローン空撮映像 など

【担当学芸員解説会】

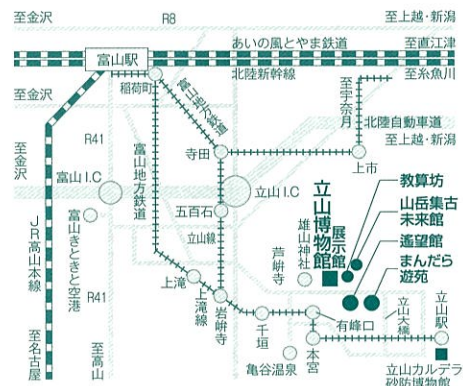
10月3日(土)、10月17日(土)、11月7日(土) いずれも14時より

【休館日】月曜日、11月4日(水) ※11月2日(月)は開館

富山県[立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1
電話076-481-1216 FAX076-481-1144
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/home.html>

会場：富山県[立山博物館] 展示館内 1階 企画展示室
主催：富山県[立山博物館]
共催：北日本新聞社
後援：北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ、NHK 富山放送局、滑川中新川地区広域情報事務組合(Net3)



交通案内

【電車の場合】富山地方鉄道立山線「千垣」駅下車後、徒歩(約2km)
※日曜日を除き、千垣駅より町営バス運行

【車の場合】JR富山駅から約45分/富山地方鉄道「立山」駅から約10分
北陸自動車道「富山IC」から約35分/「立山IC」から約30分